

<報道発表資料>

平成26年9月16日

デング熱の国内感染症例の発生について

1 概要

埼玉県内の医療機関をデング熱への罹患の疑いで受診している患者について、県衛生研究所で検査を実施したところ、デング熱の患者であることが確認されました。

当該患者は、都立代々木公園周辺で蚊に刺されてデング熱に感染したと考えられます。

2 患者について

年齢等 埼玉県在住、40歳代、男性

海外渡航歴 なし

発症・受診 9月13日発症、医療機関受診、9月14日入院し治療中

症状 発熱、頭痛、発疹等。

検査・診断 9月16日に県衛生研究所で検査を行ったところ、デング熱陽性の結果が得られた。

蚊の刺咬歴 9月4日、都立代々木公園周辺

3 県民の皆様へ

屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。

デング熱に感染しても、重症化する場合はまれです。蚊に刺されてから3～7日程度で、高熱のほか頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られればデング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。

身の回りでの蚊の発生を抑えることも大切です。

ヒトスジシマカの幼虫は、比較的小さい容器に発生するので、日頃から住まいの周囲の清掃に心がけましょう。週に一度は、植木鉢の受け皿やプラスチック容器などに溜まった水を捨て、蚊の幼虫がわからないようにしましょう。

4 これまでの本県関係患者発生状況

埼玉県内では、9月16日17時までに12名（本件を含む。）の方がデング熱の国内感染症例として確認されています（他都縣市発表分を含む）。

<参 考>

○ 関連リンク

厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所 デング熱とは

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>